

ALLURE フィッティングガイド

WIDEX ALLURE™

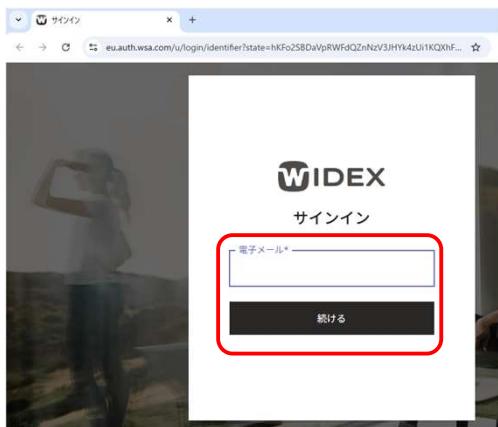
※ALLUREはCOMPASS GPSでは調整できません。Widex Compass Cloudをお使いください。

Widex Compass Cloud（以下Compass Cloud）を起動する前にNoah4でオージオグラムなど顧客情報の登録します。

1 Noah4のモジュールバーからCompass Cloudを起動します。



2 Google Chromeが起動し、サインイン画面が表示されます。
登録されたメールアドレスを入力し、続けるをクリックします。



3 パスワードを入力し、続けるをクリックします。

WIDEX

サインイン



Chromeに電子メール及びパスワードを登録しておくと、2回目以降はメールアドレスやパスワード入力を省略できます。

4 接続をクリックします。



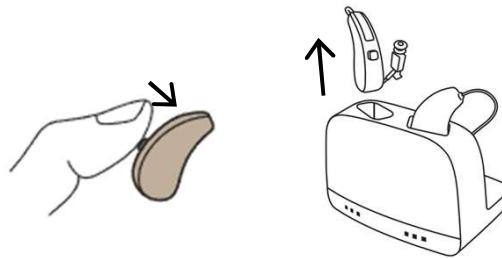
5 新規の調整の場合は新規フィッティングか補聴器データを読み取りのいずれかをクリックします。



補聴器からのデータの読み取り：再調整の場合
新しいフィッティングを行う：新たに調整する場合
補聴器へのデータの書き込み：セッションデータのコピー
※今後対応予定
キャンセル：調整を中止する場合

6

補聴器のプログラムボタンを長押しするか、充電器から補聴器を外し、補聴器の電源をオンにします。
※電源が入ると緑のLEDが短時間点灯します。

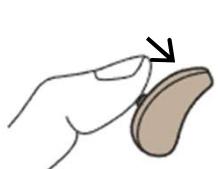
**7**

補聴器が検索されたら、補聴器のプログラムボタンを軽く押し、左右を指定します。

補聴器を選択して新たにフィッティングを行う
Noahlink Wirelessは検索中



補聴器のプログラムボタンを押した側の補聴器に枠が表示されるので、それを目安に左右を指定します。

**8**

左右指定後、続ける（新規の場合）またはデータの読み取り（微調整の場合）をクリックします。



DEMO器は、ここでクラスを指定します。
クラスの指定したら、続けるをクリックします。

デモ用補聴器の性能レベルを選択する

**9**

レシーバー・イヤチップを指定します。

現在補聴器に取り付けられているレシーバー及びイヤチップを選択します。

**10**

レシーバー及びイヤチップの選択が終わったら、フィッティングを適用をクリックします。



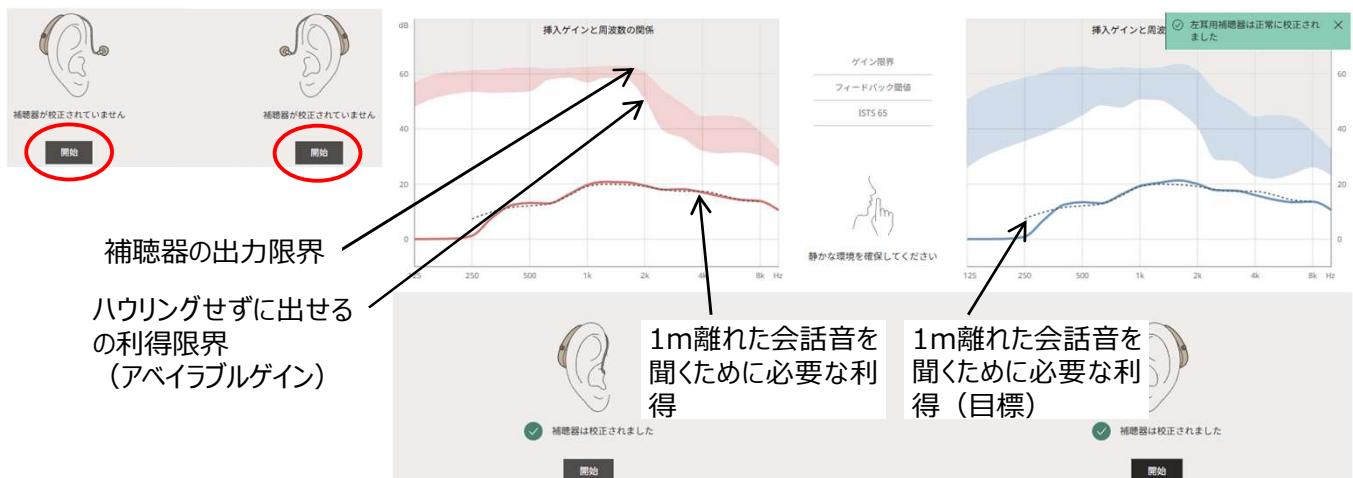
11

初期設定が完了したら、音響校正に進みます。



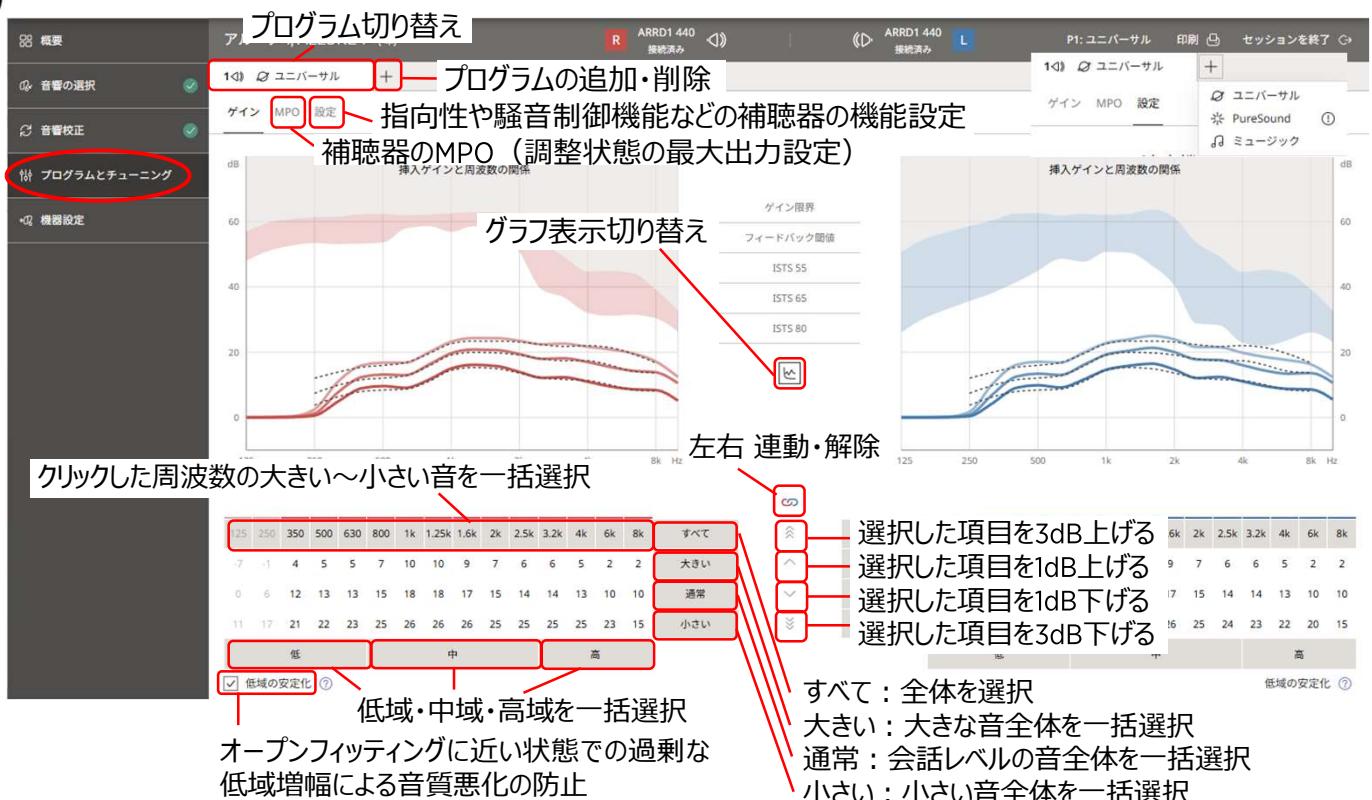
12

周囲が静かな環境で、片耳ずつ開始をクリックし、フィードバックテストを行います。



13

プログラムとチューニングへ進みます。



音の大きさの目安

大きい (旧IG大きな音)

- ・かなり大きな音
- ・近くの会話
- ・自分の声 (低域)

通常 (旧IG会話レベル)

- ・1mくらい離れた普通の会話
- ・テレビの音

小さい (旧IG小さな音)

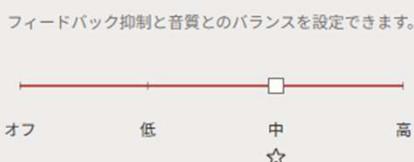
- ・小さな音の聞こえ方
- ・静かな場所での物音
- ・離れた距離での聞こえ方

設定 画面

設定

適応機能

⑨ フィードバック抑制

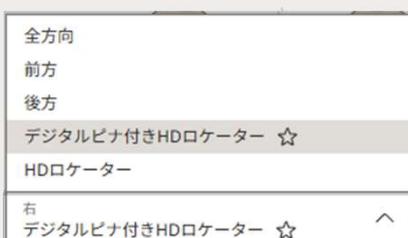


フィードバック抑制（ハウリング制御）

高：通常よりフィードバック抑制を強くかけます。ハウリングがより起こりにくくなりますが、音質が影響を受ける可能性があります。
中：音質とフィードバック抑制のバランスをとります。
低：音質を優先し、弱めにフィードバックを抑制します。
オフ：フィードバック抑制をオフにします。

⑩ マイクモード

静かな環境でも騒がしい環境でも、会話の理解度と音の識別

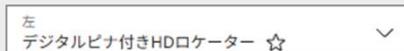


マイクモード（指向性）

全方向：補聴器のマイクが無指向性になります。
前方：常に横や後ろの音を抑え、前方からの音をフォーカスします。
後方：常に前や横の音を抑え、後方の音をフォーカスします。（330以上）
デジタルピナ付きHDロケーター：

騒音下ではマルチチャンネル環境適応型指向性として動き、静かな環境では耳介効果を擬似的に再現し音の前後方向をわかりやすくします。

HDロケーター：騒音の高さに合わせてチャンネル毎の指向性が動作します。



⑪ 話し声とノイズモード

騒音下での話し声の理解度を最適化



話し声とノイズモード（騒音制御 / スピーチエンハンサーPro）

クリア：騒音下では静かさよりも会話音を優先的にフォーカスします。（330以上）
バランス：聞き取りやすさと会話へのフォーカスよく行います。
快適：騒がしい環境下で静かさを重視した動作になります。（220以上）
オフ：スピーチエンハンサーPro（騒音制御）をオフにします。

⑫ 衝撃音の抑制

突然の衝撃音が発生する環境下での会話の理解度と快適性を



衝撃音の抑制（トゥルーサウンド ソフトナー）

高：衝撃音を強く抑え、大きな音をうるさがる方に向いていますが、会話に影響がでる場合があります。
中：バランスよく衝撃音を抑制します。
低：衝撃音の抑制を少なめに行います。
オフ：トゥルーサウンド ソフトナーをオフにします。

⑬ 風雑音の低減

風の強い状況でも聞き取りやすさを最適化します。



風雑音の低減（スマートウインドマネージャー）

高：風雑音を大幅に軽減します。会話に影響がでる場合があります。
中：自然な音をとらえつつ、バランスよく風雑音を低減します。
低：風雑音の低減を少なめにより多くの音をとらえます。
オフ：スマートウインドマネージャーをオフにします。

⑭ ソフトレベル雑音抑制

ソフトレベルの周囲の雑音のある環境下で、聞き取りやすさ



ソフトレベル雑音抑制

高：小さな定常的な雑音を大幅に軽減します。小さな会話音に影響がでる場合があります。
中：小さな定常的な音を低減します。
低：小さな定常的な音の抑制を少なめに効かせます。
オフ：ソフトレベル雑音抑制をオフにします。

14

プログラムを追加するには、「プログラムマネージャー」をクリックします。



プログラムボタンを短く押して指を離した時と1秒以上長押しして指を離した時の設定ができます。

短く押した時：プログラム切り替えか 音量のコントロールを選択します。音量コントロールになると右補聴器のプログラムボタン短押しで音量が上がり、左補聴器のプログラムボタンで音量を下がります。
1秒以上長押し：ミュート（消音）します。再度1秒以上長押しするとミュートが解除されます。
ポートと音が鳴りますので、指を離してください。そのまま長押しすると電源オフになります。

3秒以上長押しすると補聴器の電源オフになります。

なお、音量コントロールの選択は両耳装用のみの場合です。片耳装用の場合は選択できません。

■ その他の機能



ヘルプ：

- ・オンラインガイド：操作ガイドを表示します。
- ・インタラクティブツアー：Compass Cloud上の項目について簡易ガイドを表示します。
- ・更新情報：Compass Cloudの更新履歴を確認できます。
※WCCポータルサイト



品質保証：製品の受入検査や品質確認のための特性測定モードです。

規準周波数測定モード、最大音響利得測定モードがあります。

アクティビティログ：※今後対応予定

サポートファイル：Compass Cloudに問題が起こった際、サポートファイルを作成する際に使用します。

概要：Compass Cloudのバージョンを確認できます。

15

調整が終わったら、右上の セッションを終了 をクリックします。



以上でALLUREのフィッティングは以上です。